Cisco Catalyst Center 3.1.6

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

目次

Introduction	3
AI and AgenticOps	3
Security	6
Network automation	16
Integrations	20
Global Network Management	21
Technical specifications	22
Deployment options	29
Licensing	30
For more information	30

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

はじめに

Cisco® Catalyst® Center は、企業キャンパスおよびブランチネットワーク向けのオンプレミスの自己ホスト型管理ダッシュボードです。組織がシスコのスイッチングおよびワイヤレス環境を設計、導入、保護、運用する方法をシンプル化します。

ローカル制御、データの保存場所、企業グレードのガバナンスを必要とする組織向けに専用設計された Catalyst Center は、ソフトウェア定義型アクセス（SDA）を含めて、シスコ製キャンパス インフラストラクチャのエンドツーエンドのライフサイクル管理を実現します。

Catalyst Center は、一元化された運用と拡張可能な自動化によって平均修復時間（MTTR）を短縮し、企業がシスコのネットワークへの投資価値を最大化することを可能にします。

Catalyst Center により、組織は以下を実現できます。

- **エージェント型機能による運用の迅速化：**Cisco AI Assistant を活用して、複雑なグローバル展開でのトラブルシューティングを自律的にガイドし、アクションを推奨して、問題解決を迅速化します。
- **セキュリティとガバナンスの強化：**分散するキャンパスおよびブランチ環境全体に、セグメンテーション、ロールベースのアクセス、コンプライアンスポリシーを適用します。
- **キャンパス ネットワーク ライフサイクル管理の自動化：**手動設定を削減するポリシー駆動型ワークフローにより、ネットワーク インフラストラクチャの設計、展開、設定を合理化します。
- **オープンな統合によるネットワーク機能の拡張：**API とエコシステム統合を使用してワークフローを自動化し、既存のネットワーク運用をさらに広範な IT システムに接続します。

AI と AgenticOps

Catalyst Center は、AI を活用したインサイトと自動化を組み合わせることで、キャンパスおよびブランチ環境全体でのネットワーク正常性の監視、問題の診断、修復手順の特定、パフォーマンスの検証を支援します。

Cisco AI Assistant

Catalyst Center の Cisco AI Assistant を使用して、ネットワーク全体で質問、問題の分析、アクションを実行できます。また、AI を活用した応答により、障害対応を迅速化し、インサイトを確認して、解決までの時間を短縮できます。

AI Assistant を使用すると、以下の主要なユースケースで、自然言語を使ってネットワークを操作できます。

- **モニタリング：**ネットワーク、デバイス、クライアントのパフォーマンスを確認できます。たとえば、AI Assistant に次のように要求します。「このネットワークで今日再起動したスイッチをすべて表示してください」。
- **障害対応：**データに基づくガイダンスを使用して問題を分析し、根本原因を特定できます。たとえば、AI Assistant に次のように要求します。「有線クライアントに影響を与えている認証の問題をトラブルシュートしてください」。
- **ドキュメント：**ドキュメント情報の確認を合理化します。たとえば、AI Assistant に次のように質問します。「CLI テンプレートを使用して設定をプッシュするにはどうすればよいですか」。

AI 強化無線リソース管理（RRM）

AI 適用型の無線リソース管理は、AI を使用してネットワークの傾向とパターンをプロアクティブに学習し、時間の経過とともにワイヤレスエンドポイントの動作を改善することで、ワイヤレスネットワークのパフォーマンスとユーザー体験を向上させます。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Cisco AI Network Analytics

Cisco AI Network Analytics は、AI と機械学習を使用して問題、傾向、異常、根本原因を特定することにより、パフォーマンスと問題解決を正確かつ効果的に向上させるのに役立ちます。

- **AI 主導のパーソナライズされた基準値設定：**ネットワーク固有のパフォーマンスパラメータに対する AI 主導の基準値は、ネットワークの変化に応じて継続的に調整されます。このパーソナライズされた基準値により、AI 分析エンジン（オンプレミスおよび Cisco Cloud）は、正常な動作と異常を正確に区別できます。
- **AI 主導の異常検出：**パフォーマンスの問題を検出し、無害なネットワーク異常を無視してノイズを削減します。AI 主導の予測分析と能動的なインサイトにより、Wi-Fi 干渉の増加、オンボーディングの遅延、オフィスのトラフィック負荷などを予測することで、障害を予測して防止できます。
- **AI 主導の迅速な修復：**特定の問題の根本原因に関連した最も重要な変数を識別します。機械推論エンジンを使用して複雑な根本原因分析を実行し、修正措置を迅速に実行して、生産性を向上させます。
- **AI Network Analytics：**サイト全体でのユーザー体験に影響を与える可能性のある根本的な問題を能動的に特定します。AI Network Analytics は、カスタマイズ可能な KPI の単一ビューを提供し、デバイス、ユーザー、およびアプリケーションの正常性を把握できるようにします。

Catalyst Center Assurance の機能

Catalyst Center Assurance を使用すると、エンドツーエンドの可視性とインサイトを得ることができ、ネットワークの正常性を監視し、問題をトラブルシュートして、環境全体のパフォーマンスを最適化できます。

モニタリング

1. ネットワークの正常性

機能	説明
ネットワークおよびクライアントの正常性ダッシュボード	Assurance ダッシュボードにより、有線環境とワイヤレス環境におけるネットワークデバイスとクライアントの正常性を可視化し、上位 10 件のグローバルな問題を強調表示して、サイト、デバイスリスト、クライアントリスト、またはトポロジ別にドリルダウンできます。推奨される修復策とカスタマイズ可能な正常性スコアにより、パフォーマンスの問題を迅速に特定できます。
ワイヤレス ネットワーク サービス分析	ワイヤレスデバイスの認証、許可、およびアカウンティング（AAA）や Dynamic Host Configuration Protocol（DHCP）サービスなど、シスコおよびサードパーティ製のサーバーの重要なサービスの全体的な正常性を 1 か所で表示します。影響を受けるサーバー、サイト、およびユーザーを確認して、障害対応の時間とチケットの量を削減できます。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

機能	説明
レポート	柔軟なスケジュール作成オプションと設定オプションを備えた事前作成済みおよびカスタマイズ可能な一連のレポートから、ネットワークインサイトを取得できます。ユースケースの例を以下に示します。 • **キャパシティプランニング：**ネットワーク内のデバイスがどのように利用されているかを把握できます。 • **パターンの変化：**ネットワークでの使用パターンの傾向の変化を追跡します。使用パターンの傾向には、クライアント、デバイス、バンド、またはアプリケーションが含まれる場合があります。 • **運用レポート：**アップグレードの完了やプロビジョニングの失敗など、ネットワーク運用に関するレポートを確認できます。 • **ネットワークの正常性：**レポートによってネットワークの全体的な正常性を判断できます。

2. クライアントの正常性

機能	説明
Client 360	クライアント接続などを可視化して、ユーザーアクセスに影響する問題を迅速に特定し、影響を把握し、推奨される修復策のリストと解決済みの問題のリストを使用して問題をトラブルシュートできます。
接続分析	Apple iOS、Samsung、および Intel® デバイスに関して、デバイスにエージェントをインストールせずに、デバイスの視点からの詳細な分析とインサイトを取得できます。

3. デバイスの正常性

機能	説明
デバイス 360	メモリ使用率や CPU 使用率、接続など、デバイスの正常性を可視化します。推奨される修復策のリストと解決済みの問題のリストにより、問題を迅速に特定してトラブルシュートできます。
インテリジェントキャプチャ	アクセスポイントからのパケットキャプチャデータ、アクセスポイントとクライアントの統計情報、およびスペクトルデータに直接アクセスできます。この機能により、コントローラレベルの可視性を超えた、より詳細なワイヤレス診断が可能になります。
マルチベンダーのデバイスの可視性	到達可能性やトポロジなど、サードパーティ製デバイスの可視性が得られます。

4. アプリケーションの正常性

機能	説明
[Application Health] ダッシュボード	Webex® と Microsoft Teams の品質メトリックを含む、すべてのネットワークアプリケーションの正常性に関する包括的なビューを提供します。問題が特定されたビジネス関連アプリケーションと推奨される修復策を強調表示します。事前定義された「重要なビジネスアプリケーション」のパフォーマンスを追跡し、コアビジネスの問題を迅速にトラブルシュートできるようにします。
産業用スイッチ向けアプリケーション QoS（Quality of Service）のサポート	Catalyst Center のアプリケーション QoS から Cisco Catalyst IE3300 および IE3400 高耐久性シリーズ スイッチに QoS ポリシーをプッシュします。Cisco Validated Design に基づいて、デフォルトの QoS トラスト設定とキューイング設定を適用したり、これらのデバイスのカスタム QoS ポリシーを作成したりします。これにより、QoS ポリシーのプッシュの複雑さが解消され、産業環境のエンドユーザーに優れたエクスペリエンスを提供できるようになります。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

トラブルシューティング

機能	説明
機械推論エンジン（MRE）	複数のデバイスにまたがる慎重な分析を必要とする、障害を引き起こす可能性のあるルーティングループの検出と修正など、複雑な複数ステップのタスクを分析します。複雑で面倒なワークフローを自動化することで、時間を節約できます。
Wireless 3D Analyzer	数百万の空間無線周波数（RF）データポイントの詳細な分析を有効にし、ワイヤレスカバレッジを可視化することで、WLAN パフォーマンスの問題を迅速に特定して解決できます。RF 強度の影響が最も大きいエリアを特定して、クライアントの場所を表示できます。さらに、アクセスポイントを移動できる仮想オフィススペースでさまざまな RF 環境をシミュレートし、架空の壁を作成して Wi-Fi 信号の伝播への影響を確認するなど、空間計画を実施できます。
グローバル アシュアランス イベント ビューア	デバイス間のイベントの統合ビューを取得することができ、重要なイベントで検索およびフィルタ処理できます。AI Network Analytics を使用して、ネットワークの問題を特定、関連付け、およびトラブルシュートし、根本原因に迅速に対処できます。

持続可能性

機能	説明
エネルギー管理と Power over Ethernet（PoE）の分析	エネルギーレポートと任意のスイッチでの電力消費量の監視により、エネルギー使用量と PoE キャパシティを最適化し、IoT エンドポイントデバイスを迅速に設置できるようにします。消費電力の高いデバイスを特定し、過負荷を防ぎ、詳細なエネルギー使用量レポートにアクセスしてコストを削減することで、環境保全をサポートできます。

セキュリティ

ロールと権限

Catalyst Center は、安全で拡張可能なアクセス管理を実現するサイトベースのロールベース アクセス コントロール（RBAC）をサポートしています。

サイトベースの RBAC では、特定のロールと特定のネットワークサイトを組み合わせたアクセスグループを使用して、詳細な権限を作成できます。チームは、事前定義されたロールまたはカスタムロールを使用して、アクセス権を運用上の責任に合わせることができます。これにより、ユーザーはネットワークの内の自分に関連した部分のみを管理することになります。

注：1 人のユーザーに複数のアクセスグループを割り当てることができます。サイトベース RBACの設定方法について説明します。

表 1. 事前定義されたアクセスグループ

ロール	特権
NW-Admin_Global	NW-ADMIN ロールへのグローバルアクセス用のアクセスグループ
OBSERVER_Global	OBSERVER ロールへのグローバルアクセス用のアクセスグループ
SUPER-ADMIN_Global	SUPER-ADMIN ロールへのグローバルアクセス用のアクセスグループ

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

セキュリティ機能

不正管理および aWIPS	ネットワーク上の不正および Cisco Adaptive Wireless Intrusion Prevention System（aWIPS）の脅威の検出をサポートします。[Rogue and aWIPS] ダッシュボードは、ネットワーク内で検出されたすべての不正アクセスポイントの詳細な脅威分析とグローバルビューを提供し、最も優先度の高い脅威を迅速に特定できるようにします。このダッシュボードの Threat 360 ビューには、特定の脅威に関する詳細が表示されます。これには、場所をすばやく確認するためのマップビューと、影響を受けるすべてのクライアントが含まれます。
SHA256 の SNMPv3 認証のサポート	Catalyst Center は、SNMPv3 認証タイプとして SHA256 をサポートしており、古いアルゴリズムと比較して強力な認証メカニズムを提供します。
不正 AP フロアマップ：場所と脅威レベル	過去 1 時間におけるフロアマップ上のすべての不正アクセスポイント（AP）の正確な位置と脅威レベルを表示します。不正 AP の脅威を場所と重大度に基づいて迅速に特定および評価できるようにし、ネットワーク セキュリティ モニタリングを向上させます。
トラフィック ステアリング ポリシー	必要なトラフィックをファイアウォールにリダイレクトするトラフィック ステアリング ポリシーの設定をサポートし、セキュリティサービスの挿入とトラフィック制御を強化します。
Cisco SD-Access 向けセキュリティサービスの挿入	事前定義されたポリシーに基づいてファイアウォール経由でトラフィックをステアリングすることで、Cisco SD-Access ファブリックネットワークのセキュリティを強化します。有線とワイヤレス両方の展開をサポートしており、シスコおよびサードパーティのファイアウォールとの互換性があります。ファイアウォールへのトラフィックリダイレクトを自動化することでゼロトラスト セキュリティ ソリューションを実現し、ネットワークのセキュリティ態勢を向上させます。

認定

Catalyst Center は、コンプライアンスに対応する複数のセキュリティ認定を取得しています。セキュリティ証明書のダウンロードなどの詳細については、Cisco Trust Portal を参照してください。

認定	説明
ISO/IEC 27001:2022	ISO 27001 は、情報資産を安全に保つ組織の取り組みをサポートするために設計された国際規格です。情報セキュリティ管理システム（ISMS）を確立、導入、維持し、継続的に改善するための要件を規定しています。
P&C SOC 2 タイプ 2	SOC 2（Service Organization Control 2）は、データセキュリティが極めて重要な医療、金融、e コマースなどの分野における北米固有のセキュリティ要件に対応するためのプラットフォームを提供するために設計されたフレームワークです。SOC 2 は、北米のお客様と多くの業種に対して信頼性を実証しており、より広範なセキュリティ準拠に向けた重要な検証となる可能性があります。
FIPS 140-2 および FIPS 140-3	FIPS 140-2 および FIPS 140-3 に準拠した暗号モジュールにより、NIST 承認済みの強力な暗号のみが使用されるようになり、公共部門、金融、医療などのセキュリティを重視する業種での導入が可能になります。インストール時に FIPS を有効にすることを選択できます。有効にすると、NIST 承認済みの暗号のみがデータ暗号化に使用されるようになります。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Cisco SD-Access の機能

表 2. Cisco SD-Access の機能と利点

機能	説明
エンドポイントとトラフィックパターンの可視性の向上	Catalyst Center のエンドポイント分析アプリケーションは、AI/ML を使用してキャンパスネットワーク上のエンドポイントデバイスを識別および分類します。ディープパケット インスペクション（DPI）を含むさまざまなプロファイリング方法を使用して、ネットワーク上にあるものの可視性を確立し、新しいエンドポイントを認証して、ネットワークの使用、セキュリティ、およびセグメンテーションに適切なポリシーを割り当てることができるようにします。 グループベースのポリシー分析により、セグメンテーションポリシーの配信が簡素化されます。分析モデルを使用して、エンドポイントプロファイル、スケーラブルグループ、およびホストグループ間のアクティビティを可視化し、ネットワークポリシーがパフォーマンスとセキュリティを最適化していることを確認します。この機能は、ユーザーとエンドポイントを識別して分類し、各エンドポイントが必要とするリソースにきめ細かいアクセス権限を提供すると同時に、それらを他のすべてからセグメント化する方法を提供します。
きめ細かいマルチレベル セグメンテーション	Cisco SD-Access は、Catalyst Center を通じて、基盤となる物理インフラストラクチャ上に仮想オーバーレイを作成し、トポロジに関係なくネットワークをセグメント化します。また、SD-Accessは、ネットワーク インフラストラクチャを通じてグループベースのポリシーを適用することで、マイクロレベルでセグメント化します。結果として得られるきめ細かいセグメンテーションは、複雑なファイアウォールやアクセス制御リスト（ACL）を使用せずにトラフィックフローを制御します。これは、維持が困難でコストがかかる可能性があります。 **ファブリック インフラストラクチャの最適化の利点：** • VRF 構成（基幹業務、部門など）を自動化し、オーバーレイ仮想ネットワークを作成します。 • 802.1X、MAB、Active Directory（AD）、および静的認証を使用してユーザーをオンボードします。Cisco Identity Services Engine（ISE）が使用できない場合に、ユーザーを重要な VLAN に移動させるオプションがあります。 • LISP pub/sub を使用した復元力のあるコントロール プレーン アーキテクチャにより、利用可能なインターネットサービスに向けた動的なパスの最適化が含まれます。ファブリックサイトの設計、ルーティングコンバージェンス、およびトラブルシューティングタスクを簡素化します。 • LAN 自動化を使用して、標準のエラーのないアンダーレイネットワークでネットワーク運用をシンプル化します。 • 暗号化トラフィック分析（ETA）を使用して、AVC および NetFlow を介したトラフィックの分析をさらに強化します。 **Cisco SD-Access ファブリックへの移行が容易になります。** • 境界でのレイヤ 2 ハンドオフは、Cisco SD-Access ファブリック内のホストがレイヤ 2 で従来型ネットワークと通信できるようにする重要な機能です。 • ファブリックは、ビル管理システム、オーディオビジュアル機器など、レイヤ 2 フラッディングを必要とするエンドホストをサポートします。 • Cisco SD-Access では、既存のアクセス VLAN のサポートが導入され、ユーザーがファブリックでマクロセグメントを作成するときに既存のアクセス VLAN ID を保持できるようになります。お客様は、SD-Access ファブリックエッジに直接接続するときに既存のアクセス VLAN ID を保持して、SD-Access セグメンテーションの過程を簡素化および高速化できます。 • Cisco ISE 機能を使用しないマクロセグメンテーションは、ディストリビューション レイヤにファブリックがあり、ダウンストリームで外部レイヤ 2 スイッチングドメインに接続する展開に適しています。お客様は、自動化されたネットワークファブリックを展開し、ISEを使用せずに仮想ネットワークでマクロセグメンテーションを使用できます。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

機能	説明
	Cisco SD-Access ファブリックによる導入の柔軟性： • Cisco SD-Access は、エンドツーエンドのポリシーとセグメンテーションを使用した自動化されたサイト間接続により、分散キャンパス設計を提供します。 • Cisco Fabric in a Box を使用すると、ボーダーノード、コントロールプレーンノード、およびエッジノードを同じファブリックノードで実行できるため、小規模サイトまたはブランチでのファブリックの展開がシンプル化されます。 • Cisco SD-Access 拡張ノードは、企業の非オフィススペースへの接続を提供することにより、企業ネットワークを拡張します。これにより、IoT デバイスのネットワーク接続と管理、および配送センター、倉庫、キャンパスの駐車場などの屋外およびカーペットのない環境での従来のエンタープライズ エンド デバイスの展開が可能になります。 • Cisco SD-Access ファブリックには、ワイヤレスアクセスを統合するための 2 つのオプションがあります。 ◦ VXLAN 分散データ プレーンと集中型コントロール プレーンを使用する Cisco SD-Access ワイヤレスは、一貫したファブリック エクスペリエンスを提供し、有線およびワイヤレスアクセスのポリシーを簡素化します。 ◦ オーバーザトップでは、ファブリック有線ネットワーク上で、Control and Provisioning of Wireless Access Points（CAPWAP）を使用する従来の Cisco Unified Wireless Network アーキテクチャを実行します。これは、完全な Cisco SD-Access ワイヤレス導入への移行ステップとなる可能性があります。 • マルチサイト リモート ボーダー機能により、ユーザーはさまざまなファブリックサイトからの信頼できないトラフィックを DMZ のファイアウォールに分離できます。 • ファブリックゾーン機能を使用すると、管理者は特定のファブリックエッジノードで IP サブネットのプロビジョニングを制御して、サイトのスケーラビリティとセキュリティを向上させることができます。 • Cisco SD-Access は、IPv4 エンドポイントと IPv6 エンドポイントの両方をサポートします。 • Cisco SD-Access は、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションをサポートしており、ユーザーは最小限の介入と設定で共有サービスを検出して使用できます。 • 802.1X ベースの認証および認可を使用して、Cisco Catalyst 9000 シリーズ スイッチのネットワーク デバイス オンボーディングを安全に実行できます。 **簡素化されたファブリック動作：** Cisco SD-Access Assurance を使用すると、ダウンタイムを最小限に抑えて、エクスペリエンスを向上させながら、ファブリックの問題をリアルタイムで検出、診断、およびトラブルシュートできます。新たに導入された SD-Access Assurance ランディングページには、展開された各ファブリックサイトの全体的なファブリックの正常性が含まれています。ファブリックノードで設定された KPI は、問題をより迅速に特定するための洞察と、問題を修正するための推奨アクションを提供します。KPI はカテゴリに編成され、コントロールプレーン、インフラストラクチャ、および接続の問題を迅速に切り分けます。その他の機能は次のとおりです。 • ファブリック コントロール プレーンは、ファブリックエッジ/ボーダーとファブリック コントロール プレーン ノード間の到達可能性チェックを提供します。 • ファブリック インフラストラクチャは、ファブリックエッジおよびポリシー拡張ノードから Cisco ISE までの AAA サーバーステータスを検証します。 • ファブリック接続は、エッジからファブリックボーダーへの到達可能性チェック、およびファブリックエッジと拡張ノード間のコントロールプレーンとポートチャネルの接続のチェックを可能にします。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

機能	説明
	• SD-Access ファブリックロールで動作する Catalyst 9000 シリーズ スイッチ上の ThousandEyes® エージェントをサポートします。これにより、評価指標とエンドツーエンドの可視性を提供するテストを実行できます。 Cisco Catalyst SD-WAN UX 2.0 は、シンプルさ、柔軟性、豊富で直感的なコンテキストを統合したユーザーインターフェイスで、管理者のエクスペリエンスを向上させます。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

機能	説明
継続的な信頼性の検証	Cisco Trust Analytics は、さまざまな入力とソースを単一の包括的で柔軟な信頼スコアに集約したものです。信頼分析は、異常な動作を示しているエンドポイントからのトラフィックを検出します。ネットワーク内の異常が検出されると、Trust Analyticsはエンドポイントの信頼スコアを下げ、ISEとの統合によってネットワークへのアクセスを制限または完全に拒否します。この機能により、セキュリティ侵害につながる可能性のある信頼できないエンドポイントの検出と封じ込めが迅速化されます。
アシュアランス問題の検出	**ファブリックノードの到達可能性** • コントロールプレーンの到達可能性 • エッジの到達可能性 • ボーダーの到達可能性 • ルーティングプロトコル • MAP サーバー **データ プレーン** • ボーダーおよびエッジの接続 • ボーダーノードの正常性 • アクセスノードの正常性 • ネットワークサービス DHCP、DNS、AAA **ポリシープレーン** • ISE または pxGrid の接続 • ボーダーノードポリシー • エッジノードポリシー **クライアント オンボーディング** • クライアントまたはデバイスの DHCP • クライアントまたはデバイスの DNS • クライアントの認証および許可 **スイッチ** • CPU、メモリ、温度 • モジュール • PoE 電源 • TCAM テーブル

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Cisco SD-Access プラットフォームのスケール

次の表に、Cisco SD-Access のプラットフォームスケールの概要を示します。このセクションの制限値は、必ずしも Catalyst Center に依存するわけではなく、デバイスのモデルとそのキャパシティ設計に依存します。

表 3. Cisco SD-Access コントロールプレーンノード

Cisco SD-Access コントロールプレーンノード												
ファミリ	**Cisco Catalyst**									**Cisco ASR 1000、4000 シリーズ：Cisco ISR**	**Cisco ASR 1000、4000 シリーズ：Cisco ISR**	**Cisco CSR**
デバイス	9300/L	9300X	9400 Sup-XL/Y	9400X	9500	9500X	9500H	9600	9600X	8 GB RAM	16 GB RAM	1000v
エンドポイント	16,000	32,000	80,000	112,000	80,000	1,000,000	150,000	150,000	1,000,000	100,000	200,000	200,000

コントロールプレーンのスケールは Ternary Content-Addressable Memory（TCAM）に依存しません。メモリを消費するだけです。

表 4. Cisco SD-Access ボーダーノードのスケール

ファミリ	**Cisco Catalyst**								
デバイス	9300/L	9300X	9400 Sup-XL/Y SD-Access sdm テンプレート	9400X	9500 SD-Access sdm テンプレート	9500H	9500X	9600	9600X
仮想ネットワーク[1]	256	256	256	1000	256	256	1000	256	1000
IPv4 ルート	8000	32,000	64,000	96,000	64,000	48,000	512,000	48,000	512,000
ファブリックホストエントリ[2]**（ホスト /32 または /128）**	16,000	32,000	70,000	96,000	70,000	150,000	512,000	150,000	512,000
IPv4：SGT バインディング	10,000	32,000	40,000	109,000	40,000	200,000	200,000	200,000	200,000
SGT/DGT ポリシー	8000	7400	8000	32,000	8000	16,000	32,000	32,000	32,000
SG-ACEs（契約アクション）	5000	4800	18,000	16,000	18,000	13,000	4000	27,000	4000

[1] 仮想ネットワークのスケールは、Catalyst Center プラットフォーム VN のスケールにも依存します。SD-Access のスケールについては、表 7 を参照してください。

[2] エンドポイントに複数の IPv4 または IPv6 アドレスがある場合、各アドレスは個別のエントリとしてカウントされます。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

補足事項：

- ファブリックホストエントリには、アクセスポイントと、クラシックおよびポリシー拡張ノードが含まれます。
- その他のボーダーノードスケールに関する考慮事項：/32（IPv4）または /128（IPv6）エントリは、ボーダーノードがファブリックの外部からファブリック内のホストにトラフィックを転送するときに使用されます。

Cisco Catalyst 9500 シリーズ ハイパフォーマンス スイッチおよび Cisco Catalyst 9600 シリーズ スイッチを除くすべてのスイッチ：

- IPv4 は、IPv4 IP アドレスごとに 1 つの TCAM エントリ（ファブリックホストエントリ）を使用します。
- IPv6 は、IPv6 IP アドレスごとに 2 つの TCAM エントリ（ファブリックホストエントリ）を使用します。

Cisco Catalyst 9500 シリーズ ハイパフォーマンス スイッチおよび Cisco Catalyst 9600 シリーズ スイッチ：

- IPv4 は、IPv4 IP アドレスごとに 1 つの TCAM エントリ（ファブリックホストエントリ）を使用します。
- IPv6 は、IPv6 IP アドレスごとに 1 つの TCAM エントリ（ファブリックホストエントリ）を使用します。

表 5. Cisco SD-Access レイヤ 2 ハンドオフボーダーノードのスケールに関する考慮事項

ファミリ	**Cisco Catalyst**						
デバイス	**9300/L**	9300X	9400	9400X	9500	9500H	9600
エンドポイント	**8,000**	32,000	16,000	100,000	16,000	32,000	32,000

この表の数値は、サイトにレイヤ 2 ハンドオフのボーダーノードがある場合の、ファブリックサイト内外におけるエンドポイントの総数の合計です。

レイヤ 2 ハンドオフを持つボーダーノードには、ローカルとリモートの LISP エントリの組み合わせが含まれています。

ローカルエントリ = LISP データベース

リモートエントリ = LISP マップキャッシュ

例：

Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチは、合計 8000 エントリをサポートします。

ファブリックサイトに 6000 のエンドポイント（マップキャッシュ）がある場合、レイヤ 2 ハンドオフを超える従来のネットワークには 2000 のエンドポイント（データベース）しか存在できません。

表 6. Cisco SD-Access エッジノードのスケール

Cisco SD-Access エッジノードのスケール		
ファミリ	**Cisco Catalyst**	**Cisco Catalyst**

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Cisco SD-Access エッジノードのスケール												
デバイス	9200CX	9200-L	9200	9200 拡張 VN	9300/L	9300X	9400	9400X	9500/H	9350	IE9300	IE3500
仮想ネットワーク	16	1[1]	4[2]	32[3]	256	256	256	1000	256	256	32	32
エンドポイント	4,000	2000	4000	4000	6000	18,000	6000	70,000	6000	24000	4000	4000
IPv4：SGT バインディング	10,000	8000	10,000	10,000	10,000	32,000	40,000	109,000	40,000	24000	10,000	10,000
SGT/DGT ポリシー	2000	2000	2000	2000	8000	7400	8000	32,000	8000	7400	2000	2000
SG-ACEs（契約アクション）	1200	1,000	1000	1,000	5000	4800	18,000	16,000	18,000	4800	1000	1,000

[1] 9200-L = 1 つのユーザー定義 VN（VRF）

[2] 9200 = 4 つのユーザー定義 VN（VRF）

[3] 9200「強化された VN」の SKU = 32 のユーザー定義 VN（VRF）

補足事項：

INFRA_VN は VRF 定義ではありません。グローバル ルーティング テーブルに関連付けられています。

DEFAULT_VN はユーザー定義ではありません。Catalyst Center で自動的に作成されます。これは以前（下位互換性）のために存在するものです。使用は必要ではなく推奨もされません。

DEFAULT_VN は、ホストオンボーディングで使用される場合、VRF 定義としてプロビジョニングされ、「ユーザー定義の VN」としてカウントされます。

表 7. Cisco SD-Access ワイヤレス LAN コントローラ（WLC）のスケール

Cisco SD-Access WLC スケール		
デバイス	アクセスポイントの数	クライアントの数
Catalyst 9800-L	250/500（Perf. ライセンス）	5000/10000（Perf. ライセンス）
Catalyst 9800-40	2000	32,000
Catalyst 9800-80	6000	64,000
Catalyst CW9800H1	6000	64,000
Catalyst CW9800H2	6000	64,000
Catalyst CW9800M	3000	32,000
Catalyst 9800-CL（4 CPU/8 GB RAM）	1000	10,000

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Cisco SD-Access WLC スケール		
Catalyst 9800-CL（6 CPU/16 GB RAM）	3000	32,000
Catalyst 9800-CL（10 CPU/32 GB RAM）	6000	64,000

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

表 8. アクセスポイントとワイヤレスエンドポイントの Cisco SD-Access エッジノードのスケール

アクセスポイントとワイヤレスエンドポイントの Cisco SD-Access エッジノードのスケール						
ファミリ	Cisco Catalyst					
デバイス	9200-L	92001 1	9300-L[1]	9300/X	9400/X	9500/H
アクセスポイント	サポート対象外	25	50	200	200	200
ワイヤレス エンドポイント	サポート対象外	500	1000	4000	4000	4000

補足事項：

- 単一のスイッチとスイッチスタックのスケールは同じです。
- 前述のスイッチのアクセストンネル数には制限があります。アクセストンネルは、ファブリックエッジノードと、直接接続された、または直接接続拡張ノードを介して接続されたファブリックモード AP との間に作成されます。

表 9. Cisco SD-Access 組み込みワイヤレスコントローラのスケール

アクセスポイントとワイヤレスエンドポイントの Cisco SD-Access エッジノードのスケール							
ファミリ	Cisco Catalyst						
デバイス	9200-L	92001 1	9300-L[1]	9300/X	9400/X	9500/H	9350
アクセスポイント	サポート対象外	25	50	200	200	200	200
ワイヤレス エンドポイント	サポート対象外	500	1000	4000	4000	4000	4000

組み込みワイヤレスのスケールは、デバイスのロール（エッジ、Cisco Fabric in a Box、境界、コントロールプレーン）に関係なく同じです。

ネットワーク自動化

Catalyst Center では、ネットワーク展開と設定管理から、コンプライアンス、ライフサイクル管理まで、ライフサイクル全体でネットワーク運用を自動化できます。また、オンボーディングのシンプル化、一貫性の確保、大規模な運用の合理化にも役立ちます。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

展開

表 10. 展開

機能	説明
Campus Automation	ブラウンフィールドの有線およびワイヤレスデバイスを検出し、それらの既存の設定を学習します。設定を比較してグループプロファイルを作成し、カスタム CLI 設定を維持して中断を最小限に抑えながら、サイト全体での機能の有効化と展開を自動化します。
ネットワーク検出	ネットワークデバイスを自動的に検出し、詳細なデバイスレベルの情報を使用して物理トポロジにマッピングします。エンドポイントには Cisco Discovery Protocol、Link Layer Discovery Protocol（LLDP）、ホスト検出には IP Device Tracking（IPDT）および ARP、IP 電話と一部のサーバーには LLDP Media Endpoint Discovery（LLDP-MED）、IP アドレスや隣接デバイスなどのデバイスデータの収集には SNMP バージョン 2 および 3 などのプロトコルを使用します。これにより、正確なネットワークマッピングとインベントリ管理が可能になります。
設備一覧	信頼できる唯一の情報源として機能するように、ホスト IP アドレス、MAC アドレス、およびネットワーク接続ポイントを含むネットワークデバイスの設備一覧を継続的に更新して最新の状態に維持します。正しいデバイスとイメージのバージョンが使用されるように、Software Image Management（SWIM）や Cisco EasyQoS などのアプリケーションにデータを提供します。
シスコ ネットワーク プラグ アンド プレイ（PnP）	市販の Cisco® デバイスをネットワークに接続するだけでプロビジョニングできます。シスコネットワークの PnP 機能は、シスコの有線デバイスおよびワイヤレスデバイスのエンタープライズ ネットワーク ポートフォリオ全体において、安全性、拡張性に優れ、シームレスで統一されたゼロタッチ導入をお客様に提供します。オンサイトサポート訪問なしで新しいデバイスを数分で導入し、反復的なタスクとステージングを排除することで、運用コスト（OpEx）を大幅に削減できます。詳細については、ソリューションガイドを参照してください。
ブランチ展開の自動化	物理および仮想ブランチの自動化、Day 0 ルータ、および NFV 設計のワークフローをシンプル化します。次の簡単な手順で WAN デバイスとサービスを導入準備できます。 • ネットワーク設定、サービスプロバイダー、および IP プールを設定 • ルータまたは仮想プロファイルを設計 • サイトへ割り当ておよびネットワークデバイスをプロビジョニング
ワイヤレスの自動化	シンプルなワイヤレス導入と自動化のためのインテントベースのワークフロー • ネットワークプロファイル：プロファイルは、単一または複数のサイトを表すことができるワイヤレスプロパティのコンテナです。 • SSID の作成の簡素化 • ワイヤレスネットワークの高度な RF サポート • Cisco FlexConnect® または集中型ワイヤレス導入を可能にする単一のワークフロー • AP の PnP プロビジョニング • IP アクセスコントロールリスト（ACL）のサポート • SD-Access Wireless のみのアクセスおよびアクセス コントロール ポリシー 詳細については、ワイヤレス自動化のホワイトペーパーを参照してください。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Campus Automation

表 11 に、一度にプロビジョニングできるサポート対象 SD 機能のスケールを示します。

表 11. Campus Automation 機能のプロビジョニングスケール

Profile	機能	MD-S	MD-M	MD-L
L2 プロファイル	VLAN	50	200	1k
	IGMP スヌーピング	50	200	1k
	MLD スヌーピング	50	200	1k
	MAC アドレステーブル（静的）	50	100	500

表 12 に、各 Catalyst Center 展開での Campus Automation スケール制限を示します。

表 12. 展開別の Campus Automation エンティティスケール

エンティティ	**DN-SW-APL** **（Catalyst Center 仮想アプライアンス）**	**DN3-HW-APL** **（Cisco UCS® C220 M6 32 コア）**	**DN3-HW-APL-L** **（Cisco UCS C220 M6 56 コア）**	**DN3-HW-APL-XL** **（Cisco UCS C480 M6 80 コア）**	**3 ノード DN3-HW-APL-XL （Cisco UCS C480 M6 80 コア）**
ネットワーク	**500**	500	1,000	2,000	2,000
1 つのネットワーク内のデバイスグループの最大数	**100**[1]	100[1]	100[1]	100[1]	100[1]
全ネットワークでのデバイスグループの最大数	**1,000**	1,000	2,000	4,000	4,000
デバイスグループ内のデバイスの最大数	**100**	100	100	100	100
1 つのネットワーク内のデバイスの最大数	**500**	500	600	1,200	1,200
全ネットワークでのデバイスの最大数	**1,000**	1,000	2,000	5,000	10,000
ネットワークプロファイルの最大数	**250**	250	250	250	250
デバイスグループ比較でサポートされるデバイスの最大数	**500**	500	600	1,200	1,200

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

構成管理

機能	説明
ネットワーク設計とプロファイルベースの管理	地理空間マップ上で詳細なフロアプランを含むサイト、建物、およびフロアを定義することで、階層型ネットワーク管理を有効にします。デバイスログイン情報、DHCP、DNS、AAA サーバー、IP アドレスプールなどの共通ネットワーク設定と、SSID や RF プロファイルなどのグローバルまたはサイトごとに設定可能なワイヤレス設定を含むプロファイルを作成します。これらのプロファイルは自動化をサポートしており、Cisco NFVIS、ルーティング、ファイアウォール（Cisco ASA）、スイッチング、ワイヤレスなど、さまざまなデバイスタイプに適用して、一貫性のある合理化されたネットワーク設定を実現できます。
デバイスのタギング	共通の属性を共有するデバイスを関連付けるために、ネットワークデバイスにタグを付けます。たとえば、タグを作成し、それを使用して、プラットフォーム ID、Cisco IOS® リリース、またはロケーションに基づいてデバイスをグループ化します。特殊なニーズに基づいてデバイスをグループ化できます。
設定の変動の可視性	任意の 2 つのデバイス設定バージョンを視覚的に比較できます。デバイス設定の異なるバージョンを使用できるようにすることで、すべての設定変更の正確なアカウンタビリティが可能になります。
Cisco StackWise® Virtual サポート	Cisco Catalyst 9000 シリーズ StackWise Virtual スイッチの管理とモニタリングを可能にします。このテクノロジーでは、2 つの物理スイッチを、統合された管理プレーンを持つ単一の論理エンティティにクラスタ化します。これにより、ネットワーク運用がシンプル化され、高可用性、拡張性、管理、メンテナンスが向上します。
ポリシーの作成	ビジネス上の目的に基づいてポリシーを定義し、ネットワーク全体に一貫して適用します。ポリシーは、ネットワーク固有の設定とデバイス固有の設定に変換され、ネットワークの状態に基づいて動的に調整できます。インテントベース ネットワークでは、ポリシーによってビジネス上の目的を定義し、ネットワークがサービスを保証できるようにします。
アプリケーションポリシーの作成	ビジネス上の関連性に基づいてアプリケーションにポリシーを割り当て、サイトごとに適用することで、ビジネスに不可欠なアプリケーションが関連ロケーションで高い QoS 優先順位を得られるようにします。製造制御、医療機器、カスタマー エクスペリエンス センターでのビデオ、サポートサイトでの音声など、ミッションクリティカルなユースケースをサポートします。

コンプライアンス

機能	説明
ルールベースのコンプライアンス	強力なルール作成ツールセットを使用して、独自のコンプライアンスポリシーを作成できます。文字列比較、正規表現、式の評価、変数、および複数の条件を使用して、デバイス設定、CLI show コマンド出力、およびデバイスプロパティを定期的に評価します。重大度レベルとカスタム違反メッセージを割り当てて、ネットワーク全体で違反を迅速に特定して修復します。例：Telnet を無効化し、外部 AAA 認証を必須にし、パスワードポリシーを確認します。
ネットワーク コンプライアンス、セキュリティ、およびライフサイクルに関するインサイト	企業標準およびカスタム コンプライアンス ポリシーに照らして、デバイスを継続的に評価します。設定の逸脱、標準外のソフトウェアイメージ、既知のセキュリティ脆弱性、EoX ライフサイクルのマイルストーン、および該当するフィールド通知を特定します。影響を受けたデバイスを確認し、サポートされているコンプライアンス違反を修復して、リスクを軽減し、一貫性を向上させ、ネットワークが意図したとおりに動作し続けるようにします。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

ライフサイクル管理

機能	説明
ソフトウェアイメージ管理（SWIM）	ネットワーク全体でソフトウェアアップグレードを一元化および自動化します。 • ソフトウェアイメージ、パッチ、およびメンテナンス更新を管理します。 • 特定のデバイスファミリ、ロール、またはタグの標準として、検証済みイメージを指定します。 • アップグレード前およびアップグレード後のチェックによりリスクを軽減します。 • 中断を最小限に抑えるため、配布とアクティブ化を個別にスケジュール設定します。 • アップグレードの進行状況とソフトウェアイメージのコンプライアンスを追跡します。 対象となる Cisco Catalyst 9800 ワイヤレスコントローラには ISSU を、Cisco IOS XE 17.18.2 以降を実行している Catalyst 9300 シリーズ スイッチには xFSU を使用して、ダウンタイムを最小限に抑えます。
デバイス交換および RMA ワークフロー	ワークフローテンプレートでは、スイッチ、ルータ、およびアクセスポイントの交換（RMA）が可能です。Cisco IOS ソフトウェア、設定、およびライセンスの復元が含まれます。また、Cisco ISE、証明書サーバー、Catalyst Center インベントリなどの運用システムでのデバイスの交換もすべて含まれます。時間を節約し、既存のセットアップ、ライセンス、および KPI トレンドを保持します。

統合

Catalyst Center では、シスコおよびサードパーティのシステムを統合して、ネットワーク運用を拡張し、ワークフローを自動化し、環境全体の可視性を合理化できます。

プラットフォーム API と拡張性

機能	説明と利点
ノースバウンド REST API	Catalyst Center の機能全体にわたって 1,000 を超える API の膨大かつ包括的なセットを活用します。オープン REST（Representational State Transfer）API を使用して外部システムと統合し、プログラムによってネットワークデータにアクセスします。次に例を示します。 • 検出、端末一覧、ネットワークトポロジ • SWIM、プラグアンドプレイ（PnP）、ワイヤレス、SD-Access、およびアプリケーションポリシー • テンプレートプログラマ、コマンドランナー • アシュアランス：サイト、デバイス、およびクライアントの正常性モニタリング、パスのトレース • NFV のプロビジョニング • イベント管理通知の設定
イベントと通知	ウェブフックによるイベント駆動型統合を有効にして通知を受信し、Assurance、自動化、およびその他の運用ワークフローでのイベントに応答します。
Cisco DevNet	Cisco DevNet を使用して、Catalyst Center API のドキュメント、SDK、コードサンプル、学習リソース、およびサンドボックスにアクセスします。 利用可能な **Terraform** ツールと **Ansible** ツールを使用して、Infrastructure-as-Code ワークフローを有効にし、運用を自動化します。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

IT およびエコシステム統合

機能	説明と利点
IT サービス管理（ITSM）の統合	任意の ITSM システムとの統合を可能にするオープン API により、ハンドオフを最小限に抑え、問題の重複を排除し、能動的なインサイトと迅速な修復のためにプロセスを最適化します。 • ネットワークイベントに基づくチケットの自動作成、更新、終了によるクローズドループ自動化を実現するため、**ServiceNow** と統合します。 • リアルタイムアラートとオンコール対応によって解決を迅速化するため、**PagerDuty** と統合します。
IP アドレス管理（IPAM）の統合	IP プールを外部 IPAM システムからインポートして同期し、ワークフローを合理化します。Infoblox および BlueCat とのすぐに使用できる統合に加え、任意の IPAM システムと統合するためのオープン API が含まれます。
シスコ ネットワーキング アプリケーション マーケットプレイス	シスコ ネットワーキング アプリケーション マーケットプレイスを使用して、検証済みのサードパーティ統合の広範にわたるエコシステムにアクセスできます。AIOps、NetOps、SecOps などで自動化を拡張し、成果を引き出して、ネットワークの問題を能動的に解決します。

シスコ製品の統合

機能	説明と利点
ThousandEyes	Catalyst Center からサポート対象のすべてのスイッチに直接 Cisco ThousandEyes エージェントを展開し、アプリケーション パフォーマンスの可視性を拡張して、管理対象ドメインと管理対象外ドメインでパフォーマンスの問題を迅速に切り分けます。
Cisco ISE（Identity Services Engine）	Cisco ISE により、ネットワーク全体でアイデンティティベースのポリシー、セグメンテーション、セキュアなファブリック運用を実現します。
Cisco Umbrella	Catalyst Center 内のサイトおよび SSID 全体に Cisco Umbrella® を展開し、DNS レイヤセキュリティを適用して、セキュリティ態勢を強化します。
Webex	Cisco Webex® を使用して、ネットワークパフォーマンスとコラボレーション エクスペリエンスを関連付けます。通話品質を可視化し、ユーザーに影響する問題を迅速にトラブルシュートします。
Cisco Spaces	Cisco Spaces により、ロケーションベースのインサイトと分析情報を取得します。占有状況のモニタリング、アセットトラッキング、ワークプレイスの最適化などのユースケースを実現します。
Splunk	Splunk® を使用して、高度な分析、モニタリング、セキュリティインサイトのためにネットワークデータとイベントをストリーミングします。NetOps ワークフローと SecOps ワークフローでの可視性を強化します。

グローバルネットワーク管理

Cisco Catalyst Center Global Manager

複数の Catalyst Center インスタンスに一元的な制御を提供し、大規模、分散型、または規制対象の環境での運用をシンプル化します。Catalyst Center Global Manager は、複数のオンプレミスネットワークにわたる統合ビュー、一貫したアクセス制御、合理化された運用を提供することで、サイロ化された展開の管理という課題を解決します。

セルフホストを希望し、複数の Catalyst Center にわたるオンプレミス配信を必要とする大企業や規制対象環境に最適です。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

詳細については、Cisco Catalyst Center Global Manager のデータシートを参照してください。すべてのネットワーク デバイス サブスクリプションに追加コストなしで含まれています。

Cisco Cloud Control：Meraki のグローバル概要

Meraki のクラウド管理型ネットワークと Catalyst Center のオンプレミスネットワークでのハイブリッドネットワーク運用をシンプル化します。Cisco Cloud Control の Meraki を介したグローバル概要では、グローバルネットワークの正常性、デバイスステータス、重大なアラート、運用上のインサイトを統合されたクラウドベースのビューで確認できます。環境全体を検索し、Catalyst Center をクロス起動することで障害対応を迅速化します。

Meraki と Catalyst Center にまたがるクラウド対応型の提供を希望する、ハイブリッド環境を運用している大企業向けに設計されています。

詳細については、Meraki と Catalyst Center のグローバル概要のマニュアルを参照してください。すべてのネットワーク デバイス サブスクリプションに追加コストなしで含まれています。

技術仕様

遅延要件

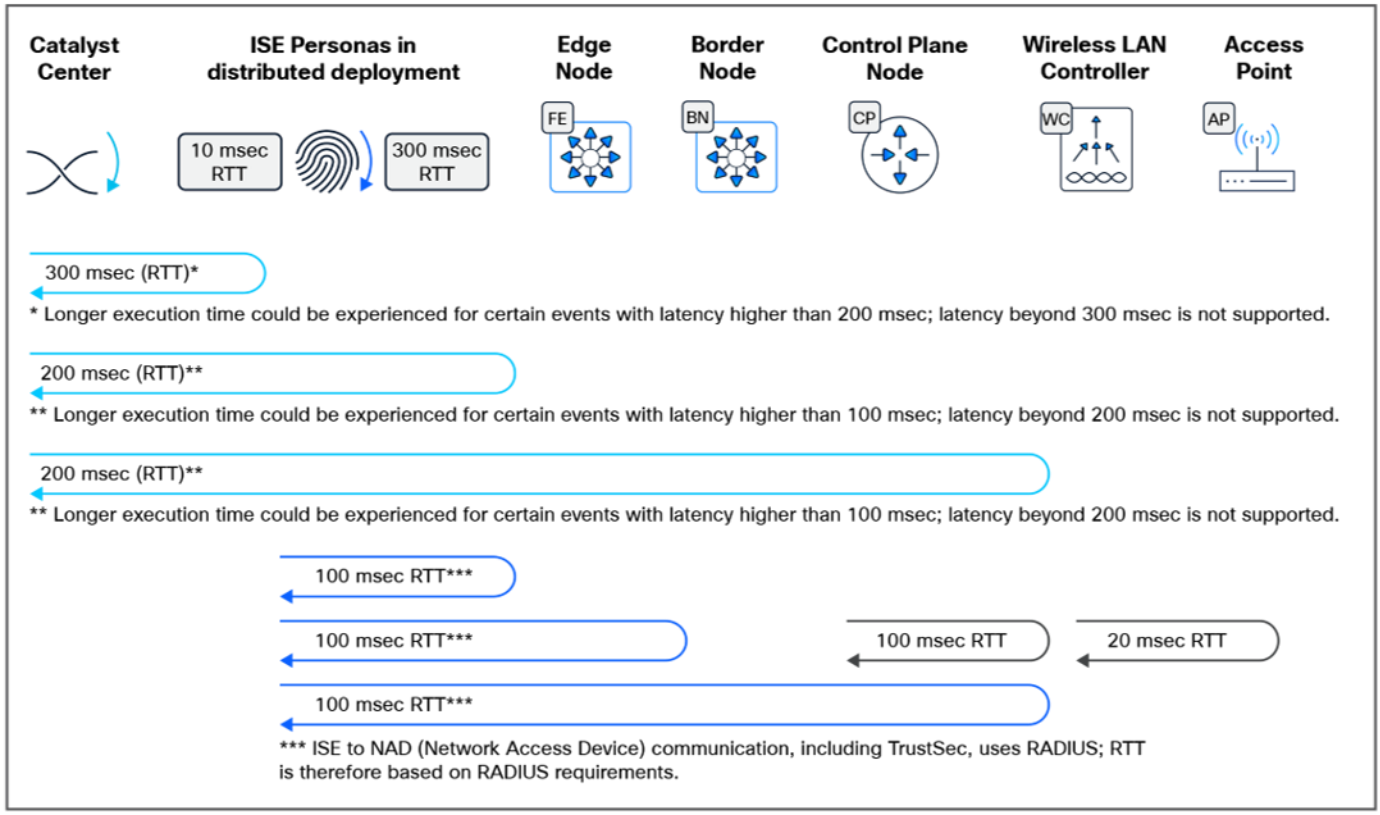

図 1.
サポートされる最大遅延、ラウンドトリップ時間

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

アプライアンスのスケール

Catalyst Center は、柔軟な展開オプションを提供します。ハードウェアアプライアンスに展開することも、VMware ESXi または AWS 上に仮想アプライアンスとして展開することも可能です。

第 3 世代の Catalyst Center アプライアンスには 3 つのフォームファクタがあります。Catalyst Center イメージがプリロードされているので、すぐにインストールできます。

表 13 および 14 に、物理アプライアンスに展開した場合の Catalyst Center のスケール情報を示します。

表 13. スケールおよびハードウェア仕様

SKU	DN-SW-APL	DN3-HW-APL	DN3-HW-APL-L	DN3-HW-APL-XL
説明	**Catalyst Center 仮想アプライアンス**	**Cisco UCS C220 M6 ラックサーバー 32 コア**	**Cisco UCS C220 M6 ラックサーバー 56 コア**	**Cisco UCS C240 M6 ラックサーバー 80 コア**
Catalyst Center のシステムスケール				
ネットワークデバイスの合計数[1]（超過不可）	5000	5000	8000	18,000
M スケールプロファイル 1（ファブリックおよび非ファブリック）	1,000（スイッチ、ルータ、WLC）+ 4,000 AP		該当なし	該当なし
M スケールプロファイル 2（ファブリックおよび非ファブリック）	2,000（スイッチ、ルータ、WLC）+ 3,000 AP		該当なし	該当なし
L および XL スケール非ファブリック	該当なし	該当なし	2,000（スイッチ、ルータ、WLC）+ 6,000 AP	5,000（スイッチ、ルータ、WLC）+ 13,000 AP
L および XL スケールファブリック	該当なし	該当なし	4,000（スイッチ、ルータ、WLC）+ 4,000 AP	8,000（スイッチ、ルータ、WLC）+ 10,000 AP
ワイヤレスセンサー	600	600	800	1600
同時エンドポイント	25,000	25,000	40,000	100,000
一時エンドポイント（14 日間以上）	75,000	75,000	120,000	250,000
エンドポイントの比率：有線、無線	任意 任意	任意 任意	任意 任意	任意 任意
サイト要素	2500	2500	5000	10,000
ワイヤレスコントローラ	500	500	1000	2000
物理ポート[2]	48,000	48,000	192,000	480,000
物理ポート[2]および論理ポートの組み合わせ	120,000	120,000	480,000	1,500,000

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

SKU	DN-SW-APL	DN3-HW-APL	DN3-HW-APL-L	DN3-HW-APL-XL
API レート制限	レート制限は特定の API レベルで管理されます。	レート制限は特定の API レベルで管理されます。	レート制限は特定の API レベルで管理されます。	レート制限は特定の API レベルで管理されます。
NetFlow（フロー数/秒）	30,000	30,000	48,000	120,000
ソフトウェアイメージの同時更新	100	100	100	100
Catalyst Center SD-Access のスケール				
ファブリックサイト[3]	500	500	1000	2000
ファブリックサイトごとの Catalyst Center のスケール				
レイヤ 3 仮想ネットワーク	64/サイト	64/サイト	128/サイト	256/サイト
ファブリックデバイス	500/サイト	500/サイト	600/サイト	3,000/サイト[4]
拡張可能グループ数	4000	4000	4000	4000
アクセス契約数	500	500	500	500
グループベースのポリシー	25,000	25,000	25,000	25,000
IP プール[5]	100[6]	100[6]	300[7]	2,000[8,9]
レイヤ 2 仮想ネットワーク[4]	200[6]	200[6]	600[7]	2,000[8,9]

[1] スイッチスタック、StackWise Virtual ペア、VSS ペア、および WLC HA SSO ペアは、それぞれ 1 つのデバイスとしてカウントされます。

[2] コンソールポートを除くすべての物理ポートが含まれます。WLC の冗長ポート（RP）が含まれます。

[3] SD-Access 展開にファブリックサイトを追加しても、Catalyst Center システムのスケールパラメータは増加しません。たとえば、10 のファブリックサイトに分散した 1,000 の同時エンドポイントと、単一のファブリックサイト内の 1,000 の同時エンドポイントは、どちらもシステムスケールに同等に寄与します。

[4] 1,200 台を超えるデバイスがあるサイトでは、ファブリックゾーンが必須です。各ファブリックゾーンには、最大 600 台のファブリックデバイスが含まれている必要があります。

[5] レイヤ 2 仮想ネットワークは、ファブリックサイトにエニーキャストゲートウェイがない SD-Access のレイヤ 2 セグメントです。レイヤ 2 仮想ネットワークでは IP プールを使用しません。

[6] IP プールとレイヤ 2 仮想ネットワークの合計数は、ファブリックサイトあたり 200 以下である必要があります。

[7] IP プールとレイヤ 2 仮想ネットワークの合計数は、ファブリックサイトあたり 600 以下である必要があります。

[8] ファブリック内のどのアクセススイッチでも、IP プールとレイヤ 2 仮想ネットワークの合計数は 1,000 以下である必要があります。

[9] ファブリックサイト内で IP プールとレイヤ 2 仮想ネットワークの合計数が 1,000 を超える場合は、すべてのアクセススイッチをファブリックゾーン内で設定する必要があります。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

表 14. 3 ノード DN3-HW-APL-XL クラスタのスケール

説明	サポートされるスケール
デバイス[1]（スイッチ、ルータ、ワイヤレスコントローラ [WLC]）	10,000
ワイヤレス アクセス ポイント	25,000
同時エンドポイント	300,000
一時エンドポイント（14 日間以上）	750,000
物理ポート[2]	768,000
物理ポート[2]および論理ポートの組み合わせ	2,000,000
NetFlow	250,000 フロー/秒

[1] スイッチスタック、StackWise Virtual ペア、VSS ペア、および WLC HA SSO ペアは、それぞれ 1 つのデバイスとしてカウントされます。

[2] コンソールポートを除くすべての物理ポートが含まれます。WLC の冗長ポート（RP）が含まれます。

ハードウェアアプライアンスの仕様

Catalyst Center アプライアンスには 3 つのフォームファクタがあります。Catalyst Center イメージがプリロードされているので、すぐにインストールできます。これらの Cisco UCS アプライアンスの詳細については、表 15 の各ハードウェアシリーズの横にあるデータシートのリンクをクリックしてください。

表 15. 物理仕様

物理仕様	DN3-HW-APL および DN3-HW-APL-L	DN3-HW-APL-XL
発注用の製品番号	DN3-HW-APL および DN3-HW-APL-L	DN3-HW-APL-XL
ハードウェアシリーズ	Cisco UCS C220 M6 ラックサーバー（データシート）	Cisco UCS C240 M6 ラックサーバー（データシート）
電源モジュール	ホットプラグ可能な冗長 2300W Titanium 認定 AC X 2	ホットプラグ可能な冗長 2300W Titanium 認定 AC X 2
物理寸法（高さ X 幅 X 奥行）	高さ：4.3 cm（1.70 インチ） 幅：42.9 cm（16.9 インチ） 奥行：48.0 cm（18.9 インチ）	高さ：8.7 cm（3.42 インチ） 幅：42.9 cm（16.9 インチ） 奥行：48.0 cm（18.9 インチ）
温度：動作	10°C ～ 35°C（50°F ～ 95°F）の乾球温度	10°C ～ 35°C（50°F ～ 95°F）の乾球温度
温度：非動作	-40°C ～ 65°C（-40°F ～ 149°F）の乾球温度	-40°C ～ 65°C（-40°F ～ 149°F）の乾球温度
湿度：動作	10 ～ 90%、最大露点温度 28°C（82.4°F）、非凝縮環境	10 ～ 90%、最大露点温度 28°C（82.4°F）、非凝縮環境

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

物理仕様	DN3-HW-APL および DN3-HW-APL-L	DN3-HW-APL-XL
湿度：非動作	相対湿度 5% ～ 93%、結露なし、乾球温度 20°C ～ 40°C の範囲での最大湿球温度は 28°C	相対湿度 5% ～ 93%、結露なし、乾球温度 20°C ～ 40°C の範囲での最大湿球温度は 28°C
高度：動作	最大標高 3050 メートル（10,006 フィート）	最大標高 3050 メートル（10,006 フィート）
高度：非動作	標高 0 ～ 12,000 メートル（39,370 フィート）	標高 0 ～ 12,000 メートル（39,370 フィート）
ネットワークおよび管理 I/O	サポートされるコネクタ： 1 Gb イーサネット専用管理ポート X 1 1/10 ギガビット BASE-T イーサネット LAN ポート X 2 RS-232 シリアル ポート（RJ-45 コネクタ）X 1 15 ピン VGA2 コネクタ X 1 USB 3.0 コネクタ X 2 USB 2.0 2 個、VGA 1 個、シリアル（DB-9）コネクタ 1 個を装備した KVM ケーブルを使用する前面パネル KVM コネクタ X 1	サポートされるコネクタ： 1 Gb イーサネット専用管理ポート X 1 1/10 ギガビット BASE-T イーサネット LAN ポート X 2 RS-232 シリアル ポート（RJ-45 コネクタ）X 1 15 ピン VGA2 コネクタ X 1 USB 3.0 コネクタ X 2 USB 2.0 2 個、VGA 1 個、シリアル（DB-9）コネクタ 1 個を装備した KVM ケーブルを使用する前面パネル KVM コネクタ X 1
適合規格：安全性および EMC		
適合規格の遵守	本製品は、指令 2014/30/EU および 2014/35/EU による CE マーキングに準拠しています。	
安全性	• UL 60950-1 第 2 版 • CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1 第 2 版 • EN 60950-1 第 2 版 • IEC 60950-1 第 2 版 • AS/NZS 60950-1 • GB4943 2001	
EMC：エミッション	• 47CFR Part 15（CFR 47）クラス A • AS/NZS CISPR 32、クラス A • CISPR32 クラス A • EN55032 クラス A • ICES003 クラス A • VCCI クラス A • EN61000-3-2 • EN61000-3-3 KN32 クラス A • CNS13438 クラス A	

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

物理仕様	DN3-HW-APL および DN3-HW-APL-L	DN3-HW-APL-XL
EMC：イミュニティ	• EN55024 • CISPR24 • EN300386 • KN35	

仮想アプライアンスの要件

Catalyst Center は、AWS または VMware ESXi 上に仮想アプライアンスとして展開できます。システム要件については、表 16 および 17 を参照してください。

表 16. VMware ESXi の仮想アプライアンスの要件

仕様	要件
プロセッサ	VM 専用の 32 の vCPU（64 GHz）
メモリ	VM 専用の 256 GB の Dynamic Random Access Memory（DRAM）
ストレージ	3 TB
ESXi	VMware vSphere（ESXi および vCenter Server を含む）7.0.x 以降とすべてのパッチ
I/O 帯域幅	180 MB/sec
IOPS（1 秒当たりの入出力処理）	2000 ～ 2500
Network Interface Card（NIC）	ネットワークポートごとに 1 Gbps ネットワーク

表 17. AWS の仮想アプライアンスの要件

仕様	要件
インスタンス タイプ	r5a.8xlarge
コア	32 vCPU（Intel または AMD ベースのホスト）
RAM	256 GB
ストレージ	4 TB
ストレージ タイプ	GP3 EBS

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

ファブリック VN スケール

表 18 に、Catalyst Center リリース 3.1.6 を展開する場合のファブリック内のデバイスに関するファブリック VN の制限を示します。

表 18. ファブリック VN 制限（現在の最大 VRF 検証は、デバイスが 128 以上をサポートできる場合でも、下限 1 と上限 128 に基づきます）。

デバイスシリーズ	最大 VRF
Cisco Catalyst 6800 シリーズ スイッチ	1000（128）
Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ	1000（128）
Cisco Cloud Services Router 1000V シリーズ	4000（128）
Cisco ASR 1000 シリーズ アグリゲーション サービス ルータ	4000（128）
Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータ	4000（128）
Cisco 4400 シリーズ サービス統合型ルータ	4000（128）
Cisco 4200 シリーズ サービス統合型ルータ	4000（128）
Cisco 4300 シリーズ サービス統合型ルータ	4000（128）
Cisco Catalyst 9300/9300X シリーズ スイッチ	256
Cisco Catalyst 9300 L シリーズ スイッチ	256
Cisco Catalyst 9500 シリーズ スイッチ	256
Cisco Catalyst 9500-H シリーズ スイッチ	256
Cisco Catalyst 9400 シリーズ スイッチ	256
Cisco Catalyst 9200-L スイッチスタック	1
Cisco Catalyst 9200 スイッチスタック	4
Cisco Catalyst 9200-24PB スイッチ	32
Cisco Catalyst 9200-48PB スイッチ	32
Cisco Catalyst 9200CX スイッチ	16
Cisco Catalyst 9600 シリーズスイッチ	256

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

互換性マトリックス

Catalyst Center は、シスコのエンタープライズ スイッチング、ルーティング、およびモビリティ製品を対象としています。サポートされているシスコ製品の完全なリストについては、定期的に更新される互換性マトリックスを参照してください。

Catalyst Center 互換性マトリックス：

https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/Website/enterprise/catalyst_center_compatibility_matrix/index.html

Cisco SD-Access 互換性マトリックス：

https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/Website/enterprise/sda_compatibility_matrix/index.html

展開オプション

Catalyst Center は、組織に最適な場所（専用の物理アプライアンス、VMware 環境、または AWS や Microsoft Azure 上のクラウドホスト型仮想アプライアンス）に展開できます。各オプションにより、統合プラットフォームを通じて一元化されたネットワーク管理が実現します。

- **物理アプライアンス：**専用のオンプレミスネットワーク管理用にシスコ製ハードウェアに展開します。
  - Cisco UCS サーバー上に構築されます。さまざまなネットワーク規模に合わせて 3 つのサイズが用意されています。
  - Catalyst Center ソフトウェアが事前にロードされており、オンプレミスですぐにインストールできます。
  - デバイスおよびエンドポイントのキャパシティが大きな企業スケールのネットワークをサポートします。
- **仮想アプライアンス：**仮想環境またはクラウド インフラストラクチャに展開します。
  - **VMware ESXi 仮想アプライアンス。**
    - Catalyst Center 3.1.x on ESXi の導入ガイドを参照してください。
    - VMware vSphere（ESXi および vCenter Server）7.0.x 以降の仮想マシンとして Catalyst Center を展開します。
    - 32 vCPU、256 GB RAM、3 TB ストレージ、180 MB/秒の I/O 帯域幅が必要です。
    - 迅速な展開と運用の柔軟性を実現し、既存の仮想インフラストラクチャを活用します。
    - VMware vSphere による高可用性機能をサポートします。
  - **AWS または Microsoft Azure の仮想アプライアンス。**
    - AWS 導入ガイドで Catalyst Center 3.1.5 の項を、Azure 導入ガイドで 3.1.x の項を参照してください。
    - オンプレミスのハードウェアを使用せずに、クラウド運用の柔軟性と価値実現までの時間短縮を実現します。
    - AWS クラウド インフラストラクチャまたは Microsoft Azure クラウド環境でネイティブに実行されるソフトウェアのみの展開です。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

ライセンス

統合ライセンス

シスコの次世代スマートスイッチおよび Wi-Fi 7 アクセスポイントについては、Cisco Networking Subscription またはエンタープライズ アグリーメントの統合ライセンスを利用できます。Cisco Networking Subscription の詳細については、データシートを参照してください。

シスコのスマート アカウント

ライセンスは、Cisco スマートアカウントを介してオンプレミスで管理されます。ライセンシングの詳細については、Cisco ソフトウェアライセンシングおよびスマートアカウントを参照してください。

Cisco Smart Software Manager（Cisco SSM）を使用してスマートアカウントを作成すると、デバイスやライセンスパッケージの発注およびソフトウェアライセンスの管理を、一元化された Web サイトから実施できるようになります。Cisco SSM を設定すれば、日単位で電子メールアラートが送信され、アドオンライセンスの更新期限通知を受け取れます。

シスコ スマート ライセンシングは、シスコ ポートフォリオ全体および組織全体でソフトウェアをより簡単かつ迅速に一貫して購入および管理できる柔軟なライセンス モデルです。また、これを安全に行うことができます。ユーザーがアクセスできる対象を制御できます。

シスコ エンタープライズ アグリーメント

シスコ エンタープライズ アグリーメント（EA）は、シスコテクノロジーの購入、管理、展開を簡素化する柔軟なライセンスソリューションです。

EA では、シスコの複数のソフトウェアおよびサービスを 1 つの契約に組み合わせることにより、ネットワーキング、セキュリティ、コラボレーション、およびデータセンター ソリューションを含む幅広い製品に簡単にアクセスできます。

このアプローチは、管理タスクを削減し、予測可能なコストを提供し、拡張性と適応性を可能にします。Cisco EA の柔軟性により、組織は IT 投資の制御を維持しながら、デジタル トランスフォーメーションとイノベーションを推進できます。詳細については、シスコ エンタープライズ アグリーメントを参照してください。

詳細情報

Catalyst Center によって可能になる高速化、コスト削減、リスク低減については、https://cisco.com/go/catalystcenter をご覧ください。

Americas Headquarters
Cisco Systems, Inc.
San Jose, CA

Asia Pacific Headquarters
Cisco Systems (USA) Pte. Ltd.
Singapore

Europe Headquarters
Cisco Systems International BV Amsterdam,
The Netherlands

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at **https://www.cisco.com/go/offices**.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: https://www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

Printed in USA C78-6654851-00 09/26

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.